



中央市誕生20周年に向けて議員一同

特集 中央市議会 20年の主なあゆみ

P2

- P 6 6月定例会で決まったこと
- P11 市長の行政報告
- P12 一般質問に6議員
- P15 委員会レポート
- P17 山梨県市議会議長会表彰
- P18 市民の談話室・編集後記

旧田富町、旧玉穂町、旧豊富村が平成18年2月20日に合併して誕生した中央市。
中央市議会も令和8年に20周年を迎えようとしています。
中央市議会では、これまでのあゆみを振り返り、さらなる発展を目指していきます！

平成18年2月
初議会を開会

当時の議員数は旧町村の全議員43人
市役所の位置を定める条例や市議会
会議規則など198件の条例を可決



平成18年5月
議会だより創刊号を発行

平成19年2月
合併後初の市議会議員選挙
22人が当選



平成19年6月

市議会政務調査費の交付に関する条例制定
議員1人月額1万円 使途は明確に！
現在は政務活動費と呼ばれています

平成20年3月

庁舎内のテレビに本会議の様子を
放映開始
現在は本館正面入口付近のロビーにて
視聴できます



平成20年9月
議会改革推進委員会を設置

議会運営や議会議員に関する調査研究を行い、
常に議会の発展を目指している

平成21年9月

中央市議会議員政治倫理規程を制定
市民の奉仕者として公正で民主的な市政発展に尽くす

平成28年2月

中央市制10周年



平成30年3月

中央市議会会議録
検索システムがリニューアル



令和元年5月

新元号とともに中央市の新たな
出発点を迎える
市庁舎完成に伴う市役所機能の移転、
既存の南館改修工事が始まる



令和元年11月

議場への車いす昇降機を設置
車いすのまま本会議を傍聴できるように
車いす専用のリフトを新設



令和2年5月

中央市議会BCPを策定
災害等発生時、議会や議員は何をすべきか
ルールを明確化

議員提出議案を可決

感染症対策の財源とするため、
議員報酬を減額し、政務活動費を不交付

新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会を設置

議員提言として市当局へ提出



中央市議会20年の主なあゆみ



平成22年3月
議員定数を22人から18人に変更

平成23年3月

一般質問の完全一問一答方式へ見直し
市当局と活発な議論を行うため議場に質問席を設置
傍聴者へ一般質問通告書の写しの貸出を開始



平成26年3月

観測史上最大の大雪による雪害
緊急対策事業を可決
2億円以上を追加補正



平成26年6月

庁舎整備特別委員会を設置
リニア中央新幹線対策特別委員会を設置

平成27年7月

「市民と議会の対話集会」を初開催
自治会長を対象とし、中央市の少子
高齢化について話し合った



平成27年11月

被災地を視察
東日本大震災の被災地宮城県名取市や
9月豪雨災害で被災した茨城県常総市の鬼怒川を視察

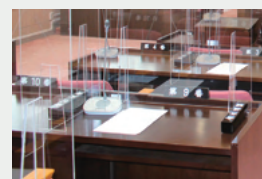
平成28年1月

山梨県広報紙コンクールの
議会広報紙部門（市部）で
中央市議会だより No.39 が
奨励賞を受賞



令和3年～5年

コロナ禍に伴い議会運営の対策を協議
議員協議会を委員会室から議場に変更
議場の各席にアクリル板を設置し、
傍聴席への入場を一部制限
定期的な換気とアルコール消毒の徹底等



令和6年2月

コロナ禍を経て「市民と議会の対話集会」が
4年ぶりに復活
自治会長を対象に自治会の抱える問題について話し合った

令和6年5月

タブレット端末を導入

令和6年12月

議員定数は現状維持の18人に決定
議会改革の取り組みとして長期間議論を
重ね、地域住民の声を十分に反映できる
現在の議員数が適正とされた



令和7年2月

会議システム導入
会議資料は全てタブレット端末で閲覧
可能となる新たな議会運営が始まる



…創刊100号へ！

これからも中央市議会は、
市民の皆さまの声に耳を傾け、
市制への深い愛情と責任をもって
さらなる努力を続けます。



玉穂

山梨大学医学部附属病院の周辺は大型商業施設がオープンし、まわりには多くの住宅が立ち並ぶようになっています。



成島地区には、県内最大級の新たな物流拠点となるロジパークが令和4年9月に完成。

市議会では、主に水災害等防災対策として、避難施設や支援協力などの防災拠点のあり方について協議してきました。

豊富

YSKe-comシルクパークは、公式試合が開催されるほどの本格的なサッカー場となっており、令和6年度は延べ1,200団体、約65,000人が利用されました。



道の駅とよみは、平成21年に全国直売所甲子園で、初代グランドチャンピオンに輝き、現在も県内外からの来客でにぎわっています。

観光の拠点として、より多くのにぎわいを創出するため、市議会では調査研究を行っています。



令和6年7月にリニューアルオープンしたシルクふれんどりい

進化を続ける中央市

合併時は、旧田富・玉穂・豊富の各庁舎にそれぞれ行政機能が分かれていましたが、現在、田富庁舎（本庁舎）は行政の中心、旧玉穂庁舎は子育て支援拠点、旧豊富庁舎は地域交流・観光などの複合施設として、最大限に活用されています。

市議会では特別委員会を設置し、主に事業コスト・水災害等の安全対策・庁舎内の機能面確保・スペースの活用等、市民に寄り添ったさまざまな議論を重ね、市当局へ要望・提言をしてきました。



本庁舎



子育て支援センター



豊富放課後児童クラブ

田 富

リニア中央新幹線が本市の東西を通過することから、市議会では、リニア中央新幹線対策特別委員会を設置し、田富北小学校の移転場所や電磁波・騒音等の影響、日照問題など調査研究・議論を重ねてきました。



令和5年に新しく竣工された田富北小学校



令和4年4月から一部利用ができるようになった中央市総合防災公園は、各種スポーツ広場、子どもたちの遊びの広場、散歩コースなどとして、幅広い年代の方々の交流の場になっています。

中央市は、新山梨環状道路の整備促進や中部横断自動車道の山梨・静岡間の全面開通やリニア中央新幹線の開通、その山梨県駅が隣接することで、市全体の活性化が期待されています。

山梨大学医学部附属病院や大型商業施設がある一方、農業が盛んで、トマトやスイートコーンは県内有数の産地であるなど、都市空間と田園風景の調和にも優れています。

市議会では、中央市の発展に向けて数多くの議論を積み重ね、市当局に要望や提言を行ってきました。これからも、飛躍的に進化を続ける中央市のまちづくりを目指していきます。

令和7年度 一般会計補正予算 (第1号)**総額****4億4,884万円を増額****176億461万円に**

(1万円未満は四捨五入しています)

6月定例会が6月12日から6月24日までの13日間の会期で開催され、市長提案の専決処分(条例関係)2案件、補正予算1案件、その他2案件、また、請願2件、意見書1件を審議しました。

また、予算繰越や和解及び損害賠償など報告案件8件が報告されました。

主な内容**○総務費**

行政事務電算化事業費 798万円

(市税等通知書データ作成のシステム改修やマイナンバーカードを活用した医療費助成システム改修)

物価高騰対応重点支援給付金給付事業
(不足額給付分) 2億245万円

(令和6年度に実施した調整給付における給付額に不足が生じる場合の追加給付)

○民生費

高齢者補聴器購入費補助事業 258万円

○衛生費

予防接種事業 1,404万円

(高齢者等における新型コロナウイルスワクチンの接種費用の一部助成)

飼い主のいない猫の不妊・去勢
手術費助成金事業 151万円

○農林水産業費

農業振興費 375万円

(新規就農者等の機械・施設の導入等の支援事業)

○土木費

道路橋梁維持事業 6,805万円

(浅利川沿い道路舗装やガードレール補修及び山宮2号橋等の橋梁塗装塗替工事)

公園管理費 1億2,110万円

(総合防災公園内のサッカーエリアの人工芝化工事等)

○教育費

学校長寿命化等推進事業(小学校) 1,852万円

(田富小学校の校舎改修後の備品や情報機器類の移設及び新たな校舎用備品等の購入)

主な条例案

○ 軽自動車税種別割の標準税率にかかる二輪車の税率区分を見直します。

- 専決処分の承認を求める件（中央市税条例中改正の件）
（施行日 令和7年4月1日）



主な改正内容

- ・ 軽自動車税種別割の標準税率の区分の見直しに伴い、税率区分を改めるもの。
- ・ 軽自動車税種別割の標準税率の区分の見直しに伴い、減免申請書の記載事項に係る規定を整備するもの。
- ・ マイナ免許証の運用開始に伴い、減免申請時の運転免許証の提示義務に係る規定等を整備するもの。
- ・ 特定マンションに係る特例について、申請書の提出が無い場合でも、一定の要件に該当すると認められる場合には、特例を適用できることとする規定を新設するもの。

○ 負担能力に応じた保険税負担を求める国の方針に従い、医療保険分及び後期高齢者支援金分の限度額を引き上げます。また、低所得世帯に対する軽減判定所得を引き上げ、基準を緩和します。

- 専決処分の承認を求める件（中央市国民健康保険税条例中改正の件）
（施行日 令和7年4月1日）

主な改正内容

- ・ 医療保険分に係る課税限度額を66万円（現行65万円）に、後期高齢者支援金分に係る課税限度額を26万円（現行24万円）に引き上げるもの。
- ・ 低所得世帯に対し被保険者均等割額及び世帯別平等割額を軽減する基準について、5割軽減・2割軽減世帯の所得判定基準を、軽減基準を算定する際の被保険者等の数に乗ずるべき金額を5割軽減では30万5千円（現行29万5千円）に、2割軽減では56万円（現行54万5千円）に引き上げるもの。

その他の案件

○ 動産取得の件

- ・取得する動産：学習者・指導者用端末 2,840台
- ・取得金額：152,763,600円
- ・取得の相手方：株式会社エーティーエルシステムズ



○ 契約締結の件

- ・工事名：中央市立田富第二・田富第三統合保育園建設（建築主体）工事
- ・工事場所：中央市西花輪地内
- ・契約金額：561,000,000円
- ・工事概要：新営建築工事 一式
 - （園舎）鉄骨造 2階建て 延床面積 1433.20㎡
 - （倉庫）鉄骨造 平屋建て 延床面積 21.16㎡ 2棟
- ・契約の相手方：長田組土木・興龍社中央市立田富第二・田富第三統合保育園建設（建築主体）工事共同企業体
- ・契約の方法：一般競争入札（事後審査型条件付き）



報告案件

○ 令和6年度予算で計上された事業の内、27の事業について令和7年度へ繰越をすることが報告されました。

（一般会計予算繰越明許・一般会計予算事故繰越・一般会計予算継続費の逓次繰越・簡易水道事業会計予算繰越・公共下水道事業会計予算繰越・農業集落排水事業会計予算繰越・上水道事業会計予算繰越）

■繰越する主な事業は以下のとおりです。

・物価高騰対策給付金給付事業（住民税非課税世帯）	1億11万円
・地域密着型サービス拠点施設整備事業	3,960万円
・保育園施設整備事業	1,980万円
・“心”あるまちへ！活性化キャンペーン商品券事業	1億8,074万円
・玉穂中央通り線整備事業	4,782万円

請 願 審 査

○ 請願第1号 「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書

- ・ 請 願 者 山梨県弁護士会 会長 大西 達也
- ・ 紹介議員 有泉 誠
- ・ 請願要旨 えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法（刑事訴訟法の再審規定）が改正されるよう以下の請願事項に基づき、地方自治法第99条の規定により、国の関係機関へ意見書を提出するよう請願するもの。
請願事項
 - 1 再審請求手続における手続規定の整備
 - 2 再審請求手続における証拠開示の制度化
 - 3 再審開始決定に対する検察官による不服申立ての禁止
- ・ 審議結果 採択

○ 請願第2号 訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書

- ・ 請 願 者 山梨県社会保障推進協議会 会 長 梅北 和一
一般社団法人 山梨県介護福祉士会 会 長 甘利 俊明
認知症の人と家族の会 山梨県支部 代表者 田村 一貴
山梨健康友の会 会 長 望月 優
山梨県民主医療機関連合会 会 長 平田 理
- ・ 紹介議員 木下 友貴
- ・ 請願要旨 2024年の介護報酬改定で訪問介護の基本報酬が引き下げられ、このままでは在宅介護が続けられず「介護崩壊」を招き、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがある。
また、訪問介護の人手不足は深刻で、ヘルパーの有効求人倍率は高止まりとなっており、介護従事者の給与は常勤でも全産業平均を下回り、人手不足に拍車をかけている。
厚労省の調査において約6割の訪問介護事業所が減収となった結果からも明らかであり、このままだと訪問介護事業の存続が危ぶまれ、要介護になっても在宅で安心して暮らし続けることも困難となることから、在宅介護の基盤を守るため、訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことについて、地方自治法第99条に基づき、国の関係機関へ意見書を提出するよう請願するもの。
- ・ 請願審査結果 継続審査

[審査ポイント]

6月16日に行われた厚生常任委員会において、付託された請願内容を審査し、市議会として介護報酬における現状の調査・研究を行わずに本請願内容を採決することは時期尚早ではないかとの意見があり、継続審査とすることに決定しました。

意見書の提出

再審法改正を求める意見書

・提出議員 志村 勇 ・賛成議員 福田 清美、笹本 昇、木下 友貴、山村 一、井口 貢

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。えん罪被害者の人権救済は、人権国家を標ぼうするわが国にとってはもちろん、地域住民の人権を護る義務を有する地方自治体にとっても重要な課題といえる。

ところで、えん罪被害者を救済するための制度としては「再審」がある。しかし、その手続を定めた法律(刑事訴訟法第四編「再審」)には、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられている。このように、いわば「再審のルール」が存在しない状態となっているため、再審請求手続の審理の進め方は、事件を担当する裁判官によって区々となっており、再審請求手続の審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。

その中でも、とりわけ再審における証拠開示の問題は重要である。過去の多くのえん罪事件では、警察や検察庁といった捜査機関の手元にある証拠が再審段階で明らかになって、それがえん罪被害者を救済するための大きな原動力となっている。したがって、えん罪被害者を救済するためには、捜査機関の手元にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要であるが、現行法にはそのことを定めた明文の規定が存在せず、再審請求手続において証拠開示がなされる制度的保障はない。そのため、裁判官や検察官の対応いかんで、証拠開示の範囲に大きな差が生じているのが実情であって、このような格差を是正するためには、証拠開示のルールを定めた法律の制定が不可欠である。

しかも、再審開始決定がなされても、検察官がこれに不服申立てを行う事例が相次いでおり、えん罪被害者の速やかな救済が妨げられている。しかし、再審開始決定は、裁判をやり直すことを決定するにとどまり、有罪・無罪の判断は再審公判において行うことが予定されており、そこでは検察官にも有罪立証をする機会が与えられている。したがって、再審開始決定がなされたのであれば、速やかに再審公判に移行すべきであって、再審開始決定という、いわば中間的な判断に対して検察官の不服申立てを認めるべきではない。

よって、えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正すべきである。

令和7年6月24日 可決

・提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣

定例会審議結果

○賛成 ×反対 (金丸 俊明 議長を除く)

種別	案 件 名	副議長	フ　ォ　ー　ラ　ム 中　　　　　　　　央										至誠会	公明党	日本共産党	無所属	結 果	
		山本六男	田中一臣	福田清美	井口貢	小池章治	斉藤雅浩	笹本昇	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一	江間政雄	新海一芳	田中輝美		木下友貴
第2回定例会																		
専決処分	税条例中改正の件																	承認
	国民健康保険税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度補正予算	一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	動産取得の件																	可決
	契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	再審法改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

6月

定例会

市長の
行政報告

「心あるまちへ活性化キャンペーン第6弾商品券事業」について

コメ価格の高騰や長引く物価高騰に対し、関連事業費を令和6年度補正予算で計上し、準備を進めてまいりました「中央市」心「チケット」は、先月、5月下旬から配付を開始したところであります。市民の皆さまには、利用期間等にご留意の上、ご利用いただきたいと思っております。なお、国における物価高や、いわゆるトランプ関税の影響を踏まえた、追加の

経済対策に向けた動きが報じられておりますが、本市といたしましても引き続きその動向を注視し、必要な施策を展開して参ります。

ふるさと大使委嘱について

人気ロックバンド「マカロニえんぴつ」でボーカル・ギターを務める、本市出身のはっとりさんは、三村小学校、玉穂中学校をご卒業され、2012年「マカロニえんぴつ」を結成、特に若い世代から絶大な人気を集め、2021年の日本レコード大賞では、最優秀新人賞を受賞し、翌年には、楽曲「なんでもないよ、」が、優秀作品賞にも選ばれました。

4月9日、委嘱式を執り行い、はっとりさんからは「中央市で培ったものや環境など、全てが繋がって今に至っていると実感している。中央市、そして山梨の皆さんの誇りとなれるよう、音楽活動を通じて活躍していきたい」とごあいさつをいただきました。はっとりさんには大使の名刺を贈り、市の

PRに活用していただくほか、市制施行20周年記念シティブロモーション事業として、マカロニえんぴつの楽曲を活用した施策を検討し、本市の情報発信等にも繋げてまいりますと考えております。市民の皆さまにおかれましても、はっとりさんとマカロニえんぴつの活動に、ご声援をいただきますようお願い申し上げます。

スポーツを基軸としたウェルビーイング推進に関する連携協定について

この協定は、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ及び一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブとの三者協定により、地域に根差したスポーツクラブであるヴァンフォーレ甲府と連携し、本市のさらなるスポーツ振興に取り組み、市民のウェルビーイング、心身の健康や幸福度の充実等を目指すものです。3月12日に締結し、同月20日には、ヴァンフォーレ甲府の外国人選手の方々と市内の外国籍児童・生徒との交流イベントを開催したところであり、これを機に、本市のスポーツ振興と市民の皆さまのウェ

ルビーイングの充実に向けて、さらに取り組みを進めてまいりたいと考えております。

企業版ふるさと納税について

昨年5月21日、本市は(株)柳正堂書店様と「売上収益の一部の寄附についての覚書」を締結しました。

内容は、柳正堂書店イオンタウン山梨中央店での書籍等の販売1点につき10円を、翌年度、企業版ふるさと納税によりご寄附いただくものであります。

本年4月24日、柳正堂書店様からこの覚書に基づく令和6年度分の販売実績に伴い、172万8,170円のご寄附をいただきました。感謝状を贈呈し、感謝の意をお伝えしたところであります。また、事業は本年度以降も継続されるなど、たいへん意義深いものであります。

なお、この寄附は、柳正堂書店代表取締役社長大塚茂様のご意向に基づき、学校図書室の図書更新費に充てさせていただきます。



A **Q**

インクルーシブ公園について
公園を中心とした周辺一体の活用方法を探り、より効果的な方策について検討する

福田 清美 議員

問：シルクの里公園のハンモック遊具が撤去されているが、今後設置の見通しと、3歳未満のこどもたちへ配慮した遊具の設置や大人の健康づくりを目的とした健康遊具の設置は。

答：公園を中心とした周辺一帯の活用方法を探ることとし、ハンモック遊具を撤去した空きスペースへの遊具の設置、3歳未満のこどもたちへ配慮した遊具の設置、大人の健康づくりを目的とした健康遊具の設置も含め、より効果的な方策について検討していく。

問：木製遊具の設置に関する森林環境譲与税基金の活用は。

答：森林環境譲与税をナラ枯れ被害対策事業や木材普及・啓発活動に活用し、今後の森林整備

や災害に備えるため、基金に積み立てをしている。この財源を活用して木製遊具を設置することもできるので、検討していく。

問：里山再生事業等の施策を進めたらどうか。

答：里山再生事業とは、社会経済環境の変化に伴い手入れが行き届かず、荒廃が進み森林の持つ多様な公益的機能が十分に発揮できなくなる恐れが生じていることから、森林を保全し地球温暖化を防止するための事業となるので、こうした趣旨に賛同した森林所有者の協力のもと、地域住民やボランティア団体が集まり里山を再生させるものとなるので、対応していく。



A **Q**

中央市ならではの印象的なスポット創出への検討は
立ち寄りを動機づける仕掛けづくりを検討していく

内藤 巧 議員

問：オートバイ神社やモニユメントの設置など、イベントや季節に要因しない通年型の集客力を持つまちづくりへ、中央市ならではのスポット創出への検討は。

答：今年度は、中央市が誕生して20周年という記念の年であるため、記念事業を盛大に実施することに加え、年間を通して、イベント時期以外にも通年型の集客を見込み、持続的な交流人口を増加させることが重要であると考える。豊かな自然や特産物など魅力ある地域資源を活用することで、観光の拠点となる場所に多くの人が集まれば、より多くの収入源になる。今後は、経費を削減することだけに注視するのではなく、新たな収入の確保の為、新たな交流人口の確

保策と、魅力ある観光資源を発掘し、活用することが重要であると考える。

「道の駅とよとみ」の立地は、国道140号線沿いにあり、中央自動車道や、中部横断道とのアクセスも良く、オートバイという視点は、非常に有効であると思われる。オートバイ神社の設置は、鳥居・賽銭箱・祠の宗教性などについて調査し、全国における今日の事例を見ながら慎重に対応していく。また、モニユメントなどの撮影スポット等は、立ち寄りを動機づける仕掛けづくりとして、指定管理者と検討していく。

【関連質問】

福田清美 議員

小池章治 議員



Q ごみ集積所について

A 全ての転入者にごみの出し方について説明している

中沢 美恵 議員

問：ごみ集積所の現状は。

答：ごみ集積所は、自治会の申請により設置されており、ごみ集積所を増やすときの手続きは、自治会内で世帯数の増加や、開発等で分譲され集積所を新規に設置する場合は、市民環境課へ「ごみ集積所設置申請書」を提出し、設置場所が適していれば許可し、設置する。ごみ集積所には、「ルールから外れたごみが出されている」「地区外の通りがかりの人が通勤途中などに出していく」「収集日を守られていない」などの苦情が寄せられている。ごみ出しルールの周知は、転入して来た方には、国籍を問わず全ての転入者にごみの出し方について説明をしている。外国籍の方が必要な場合は窓口の通訳者を通して説明してい

る。また、ごみの出し方のチラシ・パンフレット・看板なども多言語化したものを用意しており、それらを利用して周知、説明している。

問：小中学校における平和教育について。

答：市内各学校では、教科や道徳の学習として「平和学習」を各学年で行い、併せて、甲府空襲を今に伝える展示会での平和学習を計画している。子ども達がこれからの平和な社会を築く主体者として、戦争や暴力のない平和の尊さやその大切さを理解し、平和な社会を築くための思考力や行動力を育むことを目指している。

【関連質問】

木下友貴 議員

有泉 誠 議員



Q 家庭用防犯カメラ設置に対する補助制度の導入は

A 安全安心なまちづくりへ他市の事例等を参考に調査、研究していく

田中 輝美 議員

問：家庭用防犯カメラ設置支援について。

答：本市では、犯罪のないまちづくりのため、市民一人ひとりの取組（自助）、地域の取組（共助）、行政の取組（公助）が相互に連携することで、一層大きな効果を発揮するとの認識の下、犯罪を起こさせにくい地域環境づくりに努めてきた。「家庭用防犯カメラの設置に対する補助制度の導入」は、現段階では考えていないが、家庭用防犯カメラの設置により犯罪防止効果も期待できるとともに、犯罪抑止力の向上や防犯への意識向上、ひいては安全安心なまちづくりの推進にも繋がっていくものと考えられる。一方でプライバシー侵害のリスクなどの課題も考えられ、

まずは、他市の防犯カメラに対す

る取り組み事例等を参考にしながら調査、研究していく。また、山梨県警察では、自治会等への防犯カメラの設置を対象として「防犯カメラ設置促進事業補助金」制度も行っているので、地域の防犯対策の一助として活用するよう、各自治会に対して働きかけていく。

問：朝の「小1の壁」への対応は。

答：各学校では児童の登校前には校門等を開門しており、そうした時間以前に孤立してしまう小1等の児童への対応は、各小学校PTAや各学校運営協議会からのご意見やご要望等もないので、市教育委員会では、ニーズは高くないと把握している。

【関連質問】

志村 勇 議員

福田清美 議員



Q

消防団の体制強化策は

**地域に根差した消防力の維持と災害
対応力の強化に取り組む**

山本 六男 議員

問：消防体制の充実について。

答：令和7年4月1日現在、田富

地区の布施、山之神地区は団員不在地区であり、小型消防自動車は、緊急時に田富第1分団の団員が速やかに出動できるよう、現在も各車庫に配置し、本団役員が定期的に点検し、常時出動可能な状態の維持に努めている。両地区の防災体制は、市内の一般建物火災の発生時には全団が、一般建物火災以外は、副分団長以上が出動、状況により地元地区分団が出動し、両地区に限らず、市内のいかなる地域でも同様に対応できる体制である。団員の確保が大きな課題であり、処遇改善や訓練等活動の見直しの実施に引き続き、地域における消防団の重要性を訴え、併せて消防団員サポート事業など

の周知を図り随時団員を募集し、

団員の確保に努める。また「機能

別消防団員制度」の導入も視野に入れ、実効性ある消防団体制の維持・強化に取り組む。また、緊急時に対応できるよう、日頃から各部ごとに独自の訓練を実施し、火災現場等での安全な活動に備えており、消防学校への入校を行い基礎教育・幹部教育を受講し、定期的に会議の場を設け、本団および各分団との連携強化を図り、現場対応力と組織力の両立を維持している。引き続き、団員の確保・活動環境の整備に努め、地域に根差した消防力の維持と災害対応力の強化に取り組んでいく。

【関連質問】

江間政雄 議員

福田清美 議員



Q

国民健康保険会計の現状について

**国民健康保険の財政の健全化を
図り、持続可能な運営に努める**

木下 友貴 議員

問：国民健康保険会計の現状について。

答：国民健康保険被保険者数は

減少傾向にあるが、一人あたりの医療費は年々増加傾向にあり、今後も医療費給付の増加が見込まれるため、国民健康保険制度の安定的な運営が難しくなることが懸念される。これらの状況を踏まえ、市では特定健診未受診者に定期的な健診受診の勧奨通知、健診結果に基準値を超える数値があり受診していない方、生活習慣病の治療を中断されている方へ医療機関への受診勧奨通知を送付し、また、ジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付し、医療費抑制に努めている。今後、国民健康保険の財政の健全化を図り、持続可能な運営に努める。

問：補聴器購入の補助について。

答：難聴は生活や社会参加の範囲を狭め、フレイルや認知症等の

リスクを高める要因となり得る。高齢期の生活に及ぼす影響が大きく、県の補助制度が創設されたことに鑑み、支援する施策の一つとして、補聴器の購入費用に対する補助制度を創設し、今定例会に補正予算を提出した。これにより、補聴器の購入をためらうことのない環境づくりにつながる。今後も、加齢性難聴や補聴器に関する正しい知識の普及に努め、加齢性難聴は早期に気づき、適切な対応が重要であることから、スクリーニングやフォローアップなど、難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取り組みを進めていく。

総務教育常任委員会

審査ポイント

総合防災公園の人工芝化の
工事について

◎専決処分の承認を求める件
(中央市税条例中改正の件)

〈市民部 税務課〉

問：特定マンションに係る特例とは何か。

答：現行制度では、大規模修繕マンションに係る固定資産税の減額措置を、工事完了日から3か月以内に区分所有者から申告書の提出があった場合に限り適用していたが、マンション管理組合等から必要書類の提出があり減額措置の要件に該当する場合には、申告書の提出がなくても適用が可能というもの。なお、市には該当するマンションはない。

◎一般会計補正予算(第1号)

〈総務部 管財課〉

問：中央市総合防災公園多目的広場サッカーエリアの人工芝化に係る工事期間は。

答：まずは物品調達を行い、9月ころを目安に工事を始め、完

成は、令和8年2月ころを予定。

その後、使用料等の改正もあるので令和8年4月の竣工を目指している。

問：今後の管理運営方法は。

答：現在、業務委託、または指定管理ができるのか調査している。

〈未来戦略部 政策秘書課〉

問：SDGs推進事業でレンジンウから抽出した乳酸菌を用いて製造する乳酸菌飲料はいつ提供されるのか。

答：令和7年11月の中央市ふるさとまつりにおいて3,000本を無料配布する予定。

問：継続的に製造していくこと、有料販売していくような考えはあるか。

答：今回の事業は単年度を想定しているが、市民の皆さまの感想も聞く中で、可能性があれば検討する。

厚生常任委員会

審査ポイント

補聴器購入補助事業について

◎一般会計補正予算(第1号)

〈福祉部 長寿推進課〉

問：補聴器購入費の補助は、県の要綱に則っているか。

答：県に準じた内容である。非

課税世帯は、対象経費の2分の1までとして、市の補助上限は5万円、県の補助上限はその2分の1となる。課税世帯で本人が非課税では、対象経費の3分の1までとして、市の補助上限は3万2,000円、県の補助上限はその2分の1となる。

問：補助対象者を38名と想定したその根拠は。

答：県の補聴器購入費用の助成創設の際の積算方法を参考にしている。まず、令和7年4月末

現在の介護保険料の所得段階別被保険者一覧から課税・非課税世帯、課税世帯で本人非課税の人数を調べた。次に、日本難聴学会研究所の推計値から、県で推計した難聴の軽・重度者、県の障害者手帳の交付人数から

補聴器が必要と医師から診断された軽・中度者の割合により、

軽度者20名、中度者18名と積算し、合計で38名、片耳・両耳で57台とした。

問：家電量販店や通販で買う場合でも補助金は出るのか。

答：家電量販店や通販等で販売されている多くが、全ての音をただ大きくするだけの集音器であり、聴力に合わせて足りない音を大きくする補聴器とは異なる。よって補助対象は、管理医療機器として薬機法※で定められている補聴器となる。

問：予算以上の申請があった場合の対応は。

答：補正の対応をとる。

※薬機法：医薬品等の製造や販売などに関する規制を定めた法律

産業土木常任委員会

審査ポイント

耐震改修補助金について

◎ 一般会計補正予算（第1号）

〈産業建設部 建設課〉

問：歳入の耐震改修補助金で、国からの補助金は減額、県からは増額となっているが、どういうことか。

答：国庫補助金は当初、耐震診断20件分を要求したが、12件の内示に伴い、8件分を減額した。市営住宅改修工事の国庫補助金も、内示により減額した。

県補助金では、木造住宅の耐震改修補助金で当初3件分を見込んでいたが、さらに1件分を追加したことで増額した。



〈産業建設部 産業課〉

問：市内の認定新規就農者向けに県から補助される青年就農給付金の「青年」とは、何歳までのことを指すのか。

答：49歳以下となっている。



議会だよりもアプリで簡単に読める！

アプリのダウンロードはこちら！



GooglePlay や AppStore で「ライフビジョン」と検索し、ダウンロードも可能です。（無料）

操作が難しいと感じる方は、下記へお問い合わせください。

総務部 危機管理課

電話番号 055-274-8519



3つの注目ポイント



ライフビジョン始まる

中央市の新しい防災のカタチ

防災アプリ 配信スタート!!

- ① 防災無線放送を文字と音声でいつでもどこでも確認できる
- ② 県や国が発信している防災情報にも簡単にアクセスできる
- ③ さらに、防災情報だけでなく、ごみ収集カレンダー等のくらしの情報も確認できる

議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすために必要とする議会改革への取り組みを協議しています。

今回は、市民と議会の対話集会の内容と、開かれた議会運営の2つについてを協議しました。

対話集会は、テーマを中央市のまちづくりとし、対象者を市役所採用5年目以下の職員をグループごとに分け、開催時期を令和8年1月または2月に行うことが決定されました。

また、開かれた議会運営では、県内の各市議会を導入が進んでいるインターネット等による議場内の映像配信について、本会議の様子を生配信、あるいは録画配信している県内各市議会の運用状況を確認しながら、経費や運営方法について今後検討していくことが決定されました。

引き続き、これらの事項についてしっかりと調査・協議を進めていき、結果などの進捗状況を報告していきます。



山梨県市議会議長会表彰

山梨県市議会議長会より表彰されました。

各議員におかれましては、市政発展に尽くされ、その功績が認められたものです。

議長表彰



井口 貢 議員

議員25年表彰



田中 一臣 議員

表紙の写真を
大募集!!



※詳細は

HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/13325.html)

をご覧ください。事務局 (055-274-8516) までお気軽にお問い合わせください。

議会だよりでは、皆さまから表紙の写真を募集しています!
今年度のテーマは、
市制施行20周年にちなみ「20」です。
あなたにとっての20にまつわる写真を募集します。
奮ってご応募ください。
(表紙に採用された方には報償品を贈呈します)



市民の談話室

2025.8月
VOL.78若宮
しんどう ひでこ
新藤 秀子 さん

心豊かに生きてゆきたい

中央市に居を構えて28年。子ども達も手元を離れ、少し寂しくなった私ですが、何か心豊かになる楽しみをと思っていました……

普段の日々は、民生委員・児童委員（主任児童委員）、愛育会などの活動をしています。多くの方々と出会え、そして地域のどなたかのお役にたつことができ、このような心豊かになる時間をいただけたことは、とても幸せなことです。

最近、やっと楽しみが見つかりました。短歌の世界です。初心者の方はまだ指を五、七、五と折りながら歌を詠みます。ひとつひとつの言葉選びをする、その時間はとても楽しいもので、時を忘れます。短歌には素晴らしい力があります。自分の心を知り、心情を整えてくれます。これからも日常のひとコマの感動を歌にして、詠んでゆきたいと思います。

次にご紹介する歌は、齢を重ねていく自分に、庭に咲くゆりの花を重ね合わせて詠んだ歌です。

ゆりの木の葉も色付きはじめ庭染める未だ未だ
み頃枯れゆく日まで

（この歌は山梨新報、しんぼう文芸欄に掲載されたものです）

編集後記

第二次世界大戦の終戦から8月15日で80年の終戦記念日を迎えます。私は昭和26年生まれ、歴史などでしか知ることができません。父は召集され外地に派遣されましたが幸いにも復員することができました。その出来事の一部を凛々しい姿の写真を出して、私が子どものころに話をしてくれましたが、今思うと戦争の真実に気を遣い、多くは語らなかったように思えます。

4年ほど前の山日新聞に、山梨市にある根津記念館で開かれた従軍写真展で「岩山や砂上を行軍する兵士や、家族宛ての遺書を書く特攻隊員などを収めた写真32点を展示。出撃の前に乾杯する特攻隊員やフィリピン

上成島
おとくろ ひろむ
乙黒 弘 さん

地域に根ざして老後を楽しく

高校の教員を定年退職して26年が過ぎました。退職してすぐに自治会長や氏子総代をしたりと結構忙しい日々でした。山岳部の顧問をしていたこともあって、退職してすぐ、中高年の登山グループ「山梨メイプルクラブ」に入会し、北アルプス、南アルプス、中央アルプス、ハケ岳など多くの山々に登ったのが楽しい思い出です。

しかし、加齢による体力の衰えは否めず、古稀をもって登山は止めて今ではもっぱら車で懐かしい山々の風景を眺め、カメラに収めたりしています。近頃は孫たちの成長が楽しみで、家庭菜園の無農薬野菜を送ってやったりしています。

先月は高校の同窓会があり、久々に卒業生たちと美酒を酌み交わしました。還暦を過ぎた彼らの立派な生き様をみて感激し、彼らから力をもらいました。老年になったら、内に籠らず、できるだけ多くの人と交流することが、体の健康にも精神にも大切だと思います。地域の仕事、後輩や老人クラブの人たち、むかしの山仲間たちとの旅行や集会には努めて参加して、楽しい老後を過ごすよう心がけています。

で水浴びをする日本兵の写真などもある。記念館の担当者は「当時の様子を知っている人が少なくなっている中、写真を見ることで命の尊さや平和について考えてもらいたい」と話している」と掲載されておりました。昨今、世界各地で紛争が起こっています。終戦記念日を前に、命の尊さや平和の大切さを私も考えずにはいられない。

議会広報編集委員会

委員長 江間 政雄
副委員長 田中 輝美
委員 内藤 巧 有泉 誠
志村 勇 木下 友貴

〒409-3892

山梨県中央市日井阿原301-1 ☎055-274-8516

